



第 7 号
2023 年
7 月 30 日

【宣教協働小委員会 巡礼チーム】

教会訪問記

北関東教会 大宮聖愛教会

東京教会からの参加者より

2023年5月20日に北関東教会・東京教会の相互理解に向けての巡礼企画が自由応募の参加者で行われた。小雨の中、聖職者もふくめて両教会から約30名。10時集合。

大宮聖愛教会は1899年に宣教開始、現在の聖堂は1934年に建築、聖別され、パイプオルガン設置や会館増築を経ての現状。落ち着いた雰囲気のある古建築の中で、大宮地域の歴史と宣教の話をつかかった。

隣接している聖愛幼稚園（認定子ども園）に移動。土曜日だったので子どもは2人だったが在籍は70人ほどのこと。自由に動きまわれる園庭、飾りや掲示物のない園舎内を見学しながら、「ここで愛されて過ごしたという体験が生涯の支えになる」という宣教についてうかがった。

この日、会館1階は地域活動団体に開放されて食料支援活動が行われていた。他団体と連携して活動

し、社会的必要に添えていくところには伝統ある教会の自信が感じられた。

昼食は各自持参。愛餐会を大切にしているという教会からけんちん汁とデザートをいただいた。ランチセッションと聞いていざろか、震災・戦災をどう克服したか、これまでの教会変遷のエピソードが話題になり、学びを得た。

その後、大宮地域を見学する散策。14時30分に大宮駅で解散した。感謝。

* * *

以降の「教会巡礼」予定は、10月9日北関東教会日立聖アンデレ教会へ訪問予定です。お申し込みお問い合わせは、「巡礼チーム」メールアドレスまで。

締切：10月1日

junreiteam@googlegroups.com

北関東教会 第5回「教会を語る会」開催！

6月24日、各教会から信徒・教役者約50名が集まりました。これまで、日本聖公会、宣教協働区、北関東教会・東京教会それぞれの動向についての説明や意見交換が重ねられてきました。今回は、「わたしたちの教会と新教会」がテーマ。教会の「これまで」と「これから」について、広田勝一主教、高橋宏幸主教からお話を伺い、各教会がどのような教会でありたいか、また教会を形成する「わたしたち」がどうありたいかについて、意見がかわされました。それぞれ状況が違う「現場」で教会のありようを思い描いていくひとときとなりました。9月発行の北関東教会『教区時報』に詳報されます。

趣味でつながる協働企画

「鉄道趣味の会」について

趣味を通して楽しく出逢っていく協働企画のひとつとして「鉄道趣味の会」が5月27日ZOOMにて行われました。初回は顔合わせをし、鉄道について語り合いました。

次回は、宇都宮「RT（ライトレールトランジット）」の開業に合わせて、8月26日に現地を訪れる予定です。鉄道趣味をお持ちの方、ご参加をお待ちしております。

参加申し込みお問い合わせは、鈴木伸明司祭までご連絡ください。

paul.nobuaki.suzuki@gmail.com



写真いっぱい！
巡礼チーム
教会訪問ブログ

「夏休みを迎える子どもへ向けて」

東京教区事務所宣教主事 福澤眞紀子

宣教主事補 執事 藤田 誠

東京教区では現在、6つの教会で子ども食堂やフードパントリーの活動が定期的に行われています。そして、この活動と連動した働きもあります。

まず、三光教会で行われている子ども食堂では、月に一度、大人200円、子ども100円で弁当を販売しています。約120食の弁当が利用者へ提供されています。また、品川区の社会福祉協議会から届いた物資も適宜配布しています。

目白聖公会では月に一度、会館を会場にフードパントリー活動が行われています。主催は豊島子どもWAKUWAKUネットワークです。利用者は約20家庭です。企業からの献米を中心に毎回、レトルト食品、缶詰など日持ちする加工品が配られています。

これから挙げる教会の、一人親家庭や障がい者家庭など、都会で孤立しがちな困窮子育て家庭へのフードパントリー活動は、東京子ども子育て応援団との連携によって実施しています。

提供食品の殆どは、農家及び食品関連企業のみなさまから寄贈いただいた、食品ロスになるものです。

まず、東京聖テモテ教会では、第一、第三主日礼拝前と後、活動が行われます。利用者は最大19家庭です。聖マーガレット教会では、月に二度、活動しています。

す。現在、利用者は5家庭です。また、祈りの共同関係にある東北教区大館聖パウロ教会より昨年秋、米や味噌、収穫した野菜などを献品して頂き、この活動で提供しました。

千住基督教会では毎月第二・第四主日に活動が行われています。現在、6家庭の利用があります。

大森聖アグネス教会では、月に二度、フードパントリー活動をしています。現在、18家庭の登録があります。そして、子ども食堂は月に一度開催され、現在、70世帯に250食程度の弁当を提供しています。子ども食堂には、地域の方々がボランティアとして多く加わり、学生ボランティアも来ています。また、教会では青年たちによる子ども達への学習支援活動が行われています。現在、子ども食堂を利用する子どもたち、約8名が教会ホールで学習支援を受けています。

北関東教区の大宮聖愛教会では、教会を地域のフードパントリー活動の会場として提供することにも、その活動に協力しています。

補足として、東京教区の教会では貧困に対する取り組みを行っている教会があります。例えばインマヌエル新生教会では「わかちあいマルシェ」という企画を隔月で行っています。寄付と献金によって集められた「食料品・日用消耗品」を地域が必要としている方が持ち帰れる企画です。

また、浅草聖ヨハネ教会では毎主日の礼拝前に炊き込みご飯を必要な方々へ提供しています。

それぞれの活動に気持ちを寄せてくださり、ボランティアへの参加や献品と寄付のお気持ちがある場合、東京教区事務所宣教主事までご連絡ください。

mission-sec.tko@nssk.org

今月の川柳

* * * * *

酷暑でも 我が家の温度は 冷え冷えと
人混みに 香る火薬や 花火空
夏山で 肩の重荷に 主を想う

『きょうどう通信』へおたよりをお寄せください。宣教協働へのご意見・ご質問は下記メールアドレスまで。ご意見は「特別委員会」で共有しますが、掲載できませんが、ご了承ください。「残暑」をテーマにした川柳もお待ちしております。お名前は載せません。
kouhou.k.t@gmail.com

『きょうどう通信』第7号

北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会

広報小委員会